

大地を焦がす早春の風物詩 田野高原野焼き

田野高原の美しい草原を維持するために毎年春に行われる野焼きが、3月6日に田野町の美晴山で実施されました。地域住民、市消防団、ボランティアなど約90人が参加。

枯れ草に火が付けると炎は次第に勢いを増し、パチパチと音を立てながら冬枯れの大地を真っ黒に焦がしていきしました。2時間ほどで約23ヘクタールの野焼きが完了。

美晴山は4月17日から5月下旬まで一般開放される予定で、ワラビ狩りを楽しむことができます。



音を立てて燃え広がる炎が大迫力！

鉄道のある日常をもう一度 肥薩線復旧を願うアピール集会

JR肥薩線沿線自治体や住民が鉄道の復旧を願い、共に頑張る気持ちをアピールすることを目的に、3月20日にアピール集会を開催しました。沿線自治体の首長など約350人が出席。

代表発起人の肥薩線利用促進・魅力発信協議会長の松岡市長は、「肥薩線の全線復旧を実現できるよう、引き続き協力をお願いしたい」とあいさつ。復旧を願う住民からの訴えの後、JR九州や国、県へ送るアピール文を採択。復旧を心から願い、共に力を尽くすことを改めて確認しました。



会の最後に出席者でガンバロー三唱を行った

人吉から地球環境に貢献 人吉市ゼロカーボンシティ宣言

市では、地球温暖化対策を早急な課題と捉え、ゼロカーボンの視点に立った取り組みを推進する必要があることから、2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を3月22日に宣言しました。

宣言ではゼロカーボンに向けた大きな目標を4つ掲げていて、市職員の地球温暖化に対する率先行動をはじめ、市民の皆さん、民間事業者の皆さんとの包括的な協力・連携によるゼロカーボンシティの実現を推進していきます。



松岡市長が脱炭素社会の実現に向けて宣言した

まちの復興を願う希望の光 ひとよしまち灯り2022

復興に向けて歩みを進める人吉のまちに希望の光をともしようと、ひとよしまち灯り実行委員会が主催する「ひとよしまち灯り2022」。2月26日の点灯式を皮切りに、3月19日まで鍛冶屋町通り一帯と人吉復興コンテナマルシェの一部に竹灯籠が並びました。

点灯式に参加した鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を計る会の立山茂さんは「まちに明かりがつくと、被災とコロナで暗くなっている私たちの心にまで明かりがつけようような気持ちになる」と話しました。



同実行委員会とボランティアで手作りした竹灯籠は約570本

青井地区の土地区画整理が可決 人吉市都市計画審議会

被災市街地復興推進地域に指定されている青井地区の土地区画整理事業の都市計画決定についての審議会を3月16日に開催し、賛成多数で可決されました。

土地区画整理事業とは道路や公園などの公共施設を整備・改善し、土地の整形化や再配置により宅地の利用増進を効率的に行うもの。青井地区関係者の同意と協力が必要不可欠ことから、市は昨年10月から今年1月に同事業の説明や意向調査を行ってきました。可決を受け、今後、道路や公園の配置などの検討していく予定です。



有識者や市議会議員などで構成された審議会委員14人が出席

町内みんなで取り組む復興 温泉町グランドゴルフ場復旧記念大会

令和2年7月豪雨で大きな被害を受けた温泉町では、3月6日に美化作業とグランドゴルフ場復旧記念大会を開催しました。同町内会では仮設住宅に住む人やボランティアと共に、昨年7月から毎月町内の美化作業とグランドゴルフ場の復旧作業を行ってきました。

復旧したグランドゴルフ場で初めての大会を開催した同町内会の祝会長は「美化作業は毎月みんなが顔を合わせるのも目的。これからもみんなが集まれる場所にしていきたい」と話していました。



笑顔が絶えなかった久しぶりのグランドゴルフ大会

応援してくれる人たちに感謝 人吉復興コンテナマルシェ1周年

令和2年7月豪雨で被災した飲食店の仮設店舗が集まる「人吉復興コンテナマルシェ」の1周年記念イベントが、3月20日に開催されました。目玉として参加型の餅つき大会を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためやむなく断念。店舗関係者がついた餅を来場者先着200人に振る舞い、応援してくれる人々への感謝の気持ちを添えました。

会場では太鼓やよさこいなどの演舞も披露され、来場者は同マルシェで購入したものを食べながら楽しんでいました。



餅は来場者に無料で振る舞われた

人吉の今を小学生が発信 くまモン記者団@人吉

市内の小学生が、本市に暮らす人たちの魅力や復興していく様子などをSNS（会員制交流サイト）を使って情報発信をする「くまモン記者団」の活動が、3月12日にスタート。団員は人吉東小に通う4人です。

同記者団は、熊本地震の被災者支援のために設立された団体「FOR KUMAMOTO PROJECT」の活動の一環として南阿蘇村の小・中学校で始まったもので、令和2年7月豪雨で被災した本市でも発足。子どもならではの視点で人吉の今を発信していきます。



活動初日は熊本市市民会館で取材の方法を学んだ後、取材を体験